



君の未来を考えるセミナー



「新しい職業」を知り将来的選択肢を広げる

東進で憧れの志望校合格を果たした多くの先輩たちの共通項——それは、将来について考え、漠然とした自分の夢を「志」へと高めていたことです。自分や社会の未来を考えながら、「将来こんなことを成し遂げたい」という具体的な将来像を持つことで、そこから「こんなことを学びたい」「この大学 / 学部に行きたい」という気持ちが高まり、努力を続ける原動力となります。

君の未来を考えるセミナーは、デジタル時代を

生きていく中で今までになかつた価値を生み出している先生の特別講義。デジタル技術進歩を担う仕事、進化する技術を駆使して世界を豊かにする仕事、デジタル技術の発展で新たに生まれる課題を解決する仕事……。新分野を切り拓く先生方の知見に触れ、「自分の生きる未来はどうなるか?」「将来どうありたいのか?」、そして「何のために勉強するのか?」、そんな疑問の答えを見つけに行きましょう!

第28回

“興味の深掘り”が人生を動かす —プログラミングからAIロボット起業へ

ugo 株式会社 代表取締役 CEO

まつ い けん
松井 健 先生

実施
概要

対象 ▶ 高3生・高2生・高1生・高0生*とそのご父母
受講料 ▶ 無料招待
受講方法 ▶ Zoom にてオンラインリアルタイム開催
皆さんからの質問にもお答えします!!

東進生の
お申し込みは
こちら



Q 参加者の声

職業をはじめいろいろな変化が起きることをとても大変そうだと感じていたが、今回のセミナーを受講して前向きに思えた。

Q 東京都 高2生

先生自身の経験からやりたいことを形にしようと行動を起こす過程までが具体的にわかり、自分の将来を考えるうえで参考になりました。

Q 神奈川県 高1生

エンジニア=数学や理科に特化ではなく、順序立てて思考するうえで全ての科目が必要ということを学びました。

Q 奈良県 高3生

目的や意義を明確にすることで、やるべき手段が見えてくる事を学んだ。

Q 神奈川県 高1生

セミナーで先生のお話を聞いて、少しでも興味を持ったことには失敗を恐れずに挑戦してみようと思うようになりました。

Q 群馬県 高1生

数学なんて役に立たないと娘から言われることも多いですが、きちんと理論的に返答できなかったところをご説明頂き説得力がありました。

Q 東京都 高2生の保護者

*高0生：高校生レベルの学力を持った中学生

東進ハイスクール 東進衛星予備校

“興味の深掘り”が人生を動かす

—プログラミングからAIロボット起業へ

2.18 水 19:30 ~ 21:00

先生からのメッセージ

「好き」を掘り下げていったら、日本の構造課題と正面から向き合うことに…！？
人とロボットが並んで働く未来

私は、高校時代、単位制高校で個性的な仲間達が積極的に挑戦し「興味を深掘りすること」が当たり前の環境で過ごしました。その後、高校時代に興味をもったプログラミングをきっかけに、大学ではソフトウェア工学を学び、社会人では、就職後、IT系ベンチャーの創業メンバーとして起業を経験。技術そのもの以上に、仲間づくり、事業を形にして届ける難しさと面白さを学びました。

いま私が取り組むのは、AIとロボティクスで日本の構造課題（労働力不足・高齢化・インフラ老朽化）を解決し「社会を維持する仕事」を持続可能にすることです。ugoはロボットを作る会社というより、“人とロボットが融合する新しい働き方”を社会実装する会社です。遠隔化や自動化によって、働く人が本来の価値創出に集中できる新しいワークスタイルを、事業活動を通してデザインしています。

セミナーでは、AIやロボットが社会で注目されている理由、これからロボットはどうなっていくのか？皆さんのが大人になる頃に社会や職業はどう変わっているのか？といったロボットに関する話から、私自身のugo創業に至った経緯、ものづくりは全くの素人だったソフトウェアエンジニアがどうやってロボット開発ができるようになったのか？など、印象的なエピソードを交えながら、知識や技術を学ぶだけでなく好奇心に基づいて行動することの大切さ「好奇心ドリブン」を、皆さんにお届けしたいと思います。

講義後は、皆さんからの質問にも答えていきます。



ugo 株式会社 代表取締役 CEO

まつ い けん

松井 健 先生

東京工科大学 メディア学部卒。2006年（株）モンスター・ラボ（5255）の創業メンバーとして参画し、様々な新規事業のスマホアプリやWebシステムを開発する。2011年 IoTデバイス開発会社を創業し様々なコネクテッドデバイスの開発・量産経験を経て、2018年 ugo株式会社を創業、代表取締役CEOに就任。2021年に業務DXロボット「ugo（ユーゴー）」を警備ロボットとして商用化を開始。警備以外の分野ではデータセンターや発電所など点検分野での導入が進められている。「第11回ロボット大賞 ビジネス・社会実装部門 優秀賞」、「第8回インフラメンテナンス大賞 総務大臣賞」を受賞し、経済産業省の“J-Startup”にも選定され、日本のロボティクス市場を牽引している。

